

主な出来事

【内政】

- 7月8日、ルアンダ州の封鎖が8月7日まで延長された(当館注:8月に入り9月6日まで再延長)。
- 7月15日、ポルトガル政府の支援による5万回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着した。
- ロウレンソ大統領は、アゴスティーニョ・ネト大学病院の建設のため、国庫から9,000万ドルを拠出する旨許可した。
- アンゴラから東京オリンピックに女子ハンドボール、水泳、セーリング、柔道、陸上の選手計20名が出場した。

【外交】

- 7月1日、丸橋駐アンゴラ日本国大使は、ドス・サントス国会議長を表敬訪問した。
- 7月17日、当地で第13回ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)首脳会合が対面形式で開催され、CPLP加盟国間の移動に関する協定が採択された。
- 7月3日から8日、ワムケレ・メネ／アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)事務局長が当国を訪問した。
- 7月27日、国会は、モザンビーク・カーボデルガード州のテロ対策でモザンビーク当局を支援するため、SADC待機部隊の枠組で20名の軍人の派遣を許可する決議案を全会一致で承認した
- 7月27日から29日の間、ロウレンソ大統領はトルコを訪問した。訪問中、トルコ航空及びTAAG(アンゴラ国営航空)による共同運航に関する協定、投資保護協定などが締結された。

【経済】

- 7月13日、ナミベ港において、アブレウ運輸大臣及び丸橋大使の出席の下、ナミベ湾包括開発プロジェクトのファースト・ストーン・セレモニー(定礎式)が行われた。
- 7月9日、ソナンゴルは、ロビト製油所への投資に関する公開入札を発表した。
- 7月13日、アンゴラ政府は世銀及びAFDとの間で約18.6億ドルの資金協力に関する合意書を締結した。
- 7月12日、携帯電話事業者のAfricellは、本年末に運用開始予定の5Gモバイルサービスに関し、Nokiaのネットワーク技術を購入することを発表した。

鎖が維持された(当館注:8月に入り9月6日まで再延長)
([7月8日付大統領令第173/21号](#))。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1)7月8日、ルアンダ州の封鎖が8月7日まで延長された。また、アンゴラ人および外国人居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外として、国境封

2. 感染状況

7月31日時点における国内の累計感染者数は42,777名(内、累計死亡者数1,011名、累計治癒者数37,255名)であった([GOV 7/31](#))。

3. ワクチン関連

(1)7月15日、アンゴラはスプートニクVワクチン2.5万回分を受領した(当館注:ロシアのダイヤモンド採掘企業 Alrosa(アルロサ社)からの2回目の提供)。これを受け、ルトウクタ保健大臣はスプートニクVの2回目の投与を16日よりルアンダ市内で開始することを発表した([AP 7/15](#))。

(2)7月15日、ポルトガル政府の支援による5万回分のアストラゼネカ製ワクチンが到着した。注射器と針を含む同ワクチンのキットは、ポルトガル語諸国共同体(CPLP)首脳会合出席のため来訪したマルセロ・レベロ・デ・ソウザ/ポルトガル大統領及びアウグスト・サントス・シルヴァ/ポルトガル外務大臣によって、ルトウクタ保健大臣に引き渡された([AP 7/15](#))。

(3)7月20日、ロウレンソ大統領は、アナ・ディアス大統領夫人とともにロシア製スプートニクVワクチンの2回目の接種を実施した。同日、ボルニート・デ・ソウザ副大統領及びフェルナンド・ダ・ピエダーデ・ディアス・ドス・サントス国会議長も同ワクチンの2回目の接種を受けた([AP 7/20](#))。

4. 大統領による干ばつ対策工事現場の視察

7月9日及び10日、ロウレンソ大統領はクネネ州を訪問し、同州で行われている南部地域の干ばつ対策工事現場等を視察した。同大統領は、クネネ州オジンバ市において、干ばつ対策の一環としてカルクベ・ダムとドゥエ・ダムの建設を本年10月に開始すると述べた([AP 7/9](#))。

5. 2019年一般会計決算の国会承認

7月21日、第12回通常国会において2019年一般会計決算が賛成137票、反対50票(UNITA及びCASA-CE)で可決された。議員らは、国民生活に直接的な影響を及ぼす公的投資計画(PIP)、特に、一時停止されている教育及び保健分野セクター向けの事業の効果的な実施のための資金確保に特別な注意を払うことなどを勧告した([AP 7/21](#))。

6. 2022年総選挙に向けた野党の動き

7月27日、アダルベルト・ダ・コスタ・ジュニオルUNITA

党首、フィロメノ・ヴィエラ・ロペス民主同盟党首、ジュスティノ・ピント・デ・アンドラーデ前民主同盟党首及びアベル・シヴクヴク PRA-JA 代表は、2022年総選挙での与党 MPLA 打倒に向けた「政権交代のための拡大戦線」結成のための取組について意見交換を行った([NJ 7/27](#))。

7. アゴスティーニョ・ネト大学病院の建設

ロウレンソ大統領は、アゴスティーニョ・ネト大学病院の建設のため、国庫から9,000万ドルを拠出する旨許可した。建設はルアンダ・メディカル・センター(LMC)を請け負った Promed International AG 社が行うが、本事業には、イスラエル系の Mitrelli 及び Menomadin グループ(代表は LMC 社主)が関与していると見込まれる([NJ 7/21](#))。

8. 保健分野における支援

7月22日、UNDPと保健省は、グローバル・ファンド(世界基金)がアンゴラにおけるHIV、マラリア、結核、COVID-19対策を支援するため、約1億320万ドルを提供する旨共同声明を発表した。2024年までの期間、特にベンゲラ州及びクアンザ・スル州において支援活動が実施される見込み([EX 7/21](#))。

9. アンゴラ選手の東京オリンピック出場

アンゴラからの東京オリンピック出場者は、女子ハンドボール選手14名の他、水泳選手2名(男子100mバタフライ、女子100m自由形)、セーリング2名(男子470級)、柔道1名(女子57キロ級)、陸上1名(男子100m)の計20名であった([LUSA 7/21](#))。

10. 東京オリンピック・アンゴラ女子ハンドボール関連

(1)7月15日、アンゴラ女子ハンドボール選手団20名が事前キャンプ地である熊本県玉名市に到着し、7月20日まで玉名市総合体育館で練習を行った([玉名市公式サイト](#))。

(2)8月2日、アンゴラ女子ハンドボールチームは予選リーグ最終戦で韓国と31対31で引き分け、予選敗退した。7月31日の対日本戦において28対25で勝利したが、全体では3敗1引き分けという結果であった([AP](#)

8/2)。

外交

1. 丸橋大使のドス・サントス国会議長との会合

7月1日、丸橋駐アンゴラ日本国大使は、ドス・サントス国会議長を表敬訪問した。丸橋大使は、アンゴラ政府によるCOVID-19対策を称賛しつつ、6月2日に日本政府とGAVIの共催で開催されたCOVAXサミットへのロウレンソ大統領の出席に謝意を表明した。また、東京オリンピックに出場予定のアンゴラ女子ハンドボール選手の活躍を祈念した([AP 7/1](#))。

2. 丸橋大使のアンゴラ国営ラジオインタビュー

7月15日、丸橋大使はアンゴラ国営ラジオ(RNA)によるインタビューに応じ、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアンゴラ人選手の活躍を祈念しつつ、日アンゴラ二国間関係について紹介した。(インタビューの内容は次のとおり [RNA 7/16](#) [RNA 7/19](#) [RNA 7/20](#))

3. CPLP 首脳会合の開催、アンゴラの議長国就任

(1)7月17日、当地で「共通で持続可能な未来の構築と強化」をテーマに、第13回ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)首脳会合が対面形式で開催された。同首脳会合において、各国首脳及び政府は、ロウレンソ大統領を2021~2023年期のCPLP議長に選出し、CPLP設立25周年を祝した。また、加盟国間の人の移動の活発化、あらゆる分野における協力関係の強化およびCPLPへの帰属意識の促進を目的とし、CPLP加盟国間の移動に関する協定が採択された([CPLP 7/17](#))。

(2)ロウレンソ大統領は、同首脳会合での演説において、加盟国の発展を促進するためにCPLP投資銀行の設立を提案した。同大統領は、国内生産や輸出の促進により加盟国の経済分野のポテンシャルを向上させるダイナミックで創造的な方法を模索する必要がある旨述べた。また、CPLP議長の任期中に経済・ビジネスをCPLPの支柱に含める旨併せて提案した([AP 7/17](#))。

4. アンゴラ・ポルトガル関連

7月16日、アントニオ外相及びアウグスト・エルネスト・サントス・シルヴァ葡外相は、査証手続の円滑化に関する協定及び投資保護協定への署名を行った([AP 7/16](#))。

5. ギニアビサウの対アンゴラ債務の猶予

7月16日、アンゴラ・ギニアビサウ間で、ギニアビサウの対アンゴラ債務4,900万ドルを35年間猶予するMOUが締結された。1975年のアンゴラからの融資1,800万ドルに長年の利息が加わり、4,900万ドルまで債務が増大したものである([JA 7/17](#))。

6. アンゴラ・中央アフリカ首脳会談

7月12日、フォースタン・トゥアデラ中央アフリカ共和国大統領がアンゴラを訪問し、ロウレンソ大統領と会談を実施した。両大統領は、中央アフリカにおける深刻な国内情勢に関する意見交換を行った([DW 7/12](#))。

7. アンゴラ通信衛星 Angosat-2 の SADC での活用

7月9日、オリヴェイラ通信・情報技術・マスコミュニケーション副大臣は、SADC通信大臣会合に出席し、2022年に打ち上げ予定の通信衛星 Angosat-2 の SADC 加盟国での活用を提案した。また、同副大臣は、エアバス社による Angosat-2 の製造及び宇宙開発分野の人材育成は順調であり、予定通りに打ち上げられる見込みであると述べた([JA 7/10](#))。

8. アンゴラの ACP 諸国議長国就任

7月14日、ジョルジ・シコティ ACP 諸国事務総長は、テ・アントニオ外務大臣との会談後、アンゴラが、2022年12月6日から9日までルアンダで開催予定のACP諸国首脳会合において同諸国議長国に就任する旨明らかにした([AP 7/15](#))。

9. 米国のアンゴラ支援

(1)米国政府は、クアンザ・ノルテ州、マランジェ州、クアンザ・スル州、ベンゴ州、ウイラ州、ナミベ州の農村地域の女性農民を支援するプロジェクトに100万ドルの資金を供与した。当該資金供与は、米国政府と石油関連企業との官民連携によるもので、農業に従事する女性の

支援を目的とする。当該プロジェクトは、アンゴラで活動するNGOであるADPPによって2020年から実施されており、2025年に終了する予定。農業の促進及び家族経済の多様化の他、識字教育、経営管理、出生登録を通じた土地の使用や市民権の取得等の法的手続きに関する知識の習得への貢献を目指している([AP 7/26](#))。

(2)7月30日、米国は50万ドルに相当する簡易検査キットや感染予防のための消耗品をアンゴラ政府に寄贈した。米国疾病対策センター(CDC)によるアンゴラに対する物資支援は今回で3度目となる([JA 7/30](#))。

10. AfCFTA 事務局長のアンゴラ訪問

(1)7月3日から8日、ワムケレ・メネ／アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)事務局長が当国を訪問した。5日、同事務局長はロウレンソ大統領と AfCFTA の課題等について意見交換を行った([AP 7/5](#))。

(2)7月7日、AfCFTA 事務局長は、ルアンダで開催された講演会において、同貿易圏における生産部門への投資のための10億ドルの資金拠出プロジェクトを発表した。また、講演会に参加したヴィトル・フェルナンデス工業・商業大臣は、関税オファーに関する文書は既に経済委員会及び閣議承認を待っている段階であり、承認されれば今月末にもAUに提出する予定と述べた([JA 7/8](#))。

11. モザンビークへの軍部隊派遣の承認

アンゴラは、モザンビーク・カーボデルガード州のテロ対策でモザンビーク当局を支援するため、SADC 待機部隊の枠組でアンゴラ軍部隊を派遣する。7月27日、国会は、アンゴラ国軍最高司令官であるロウレンソ大統領が SADC 関連取極に基づき、20名の軍人の派遣を許可する決議案を全会一致で承認した([GOV 7/27](#))。

12. アンゴラ・ロシア関係

7月24日付ジョルナル・デ・アンゴラ紙は、「ロシアにおける外交官の日」との見出しでタラロフ駐アンゴラ／ロシア大使の投稿記事を掲載した。同大使は、アンゴラ・露経済関係について、特殊衛星 Angosat2 の打ち上げプロジェクトの導入が最終段階にあることや2019年に計12億ドルに上るアンゴラ国内の肥料工場建設のため

の協定が署名されたこと、露とアンゴラの合弁企業「カトカ鉱山会社」はアンゴラ国内のダイヤモンド生産の75%以上を生産し、8,000万ドル以上の国庫収入に寄与していることなどに言及した([JA 7/24](#))。

13. 大統領のトルコ訪問

(1)7月27日から29日の間、ロウレンソ大統領はトルコを訪問した。27日には、レジェップ・タイップ・エルドアン／トルコ大統領と首脳会談を行い、トルコ航空及び TAAG (アンゴラ国営航空)によるルアンダ・イスタンブール間の共同運航に関する協定、外交・公用旅券等を対象とする査免協定、投資保護協定などを締結した。その他、二国間の経済協力関係強化に向けてのトルコ輸出入銀行によるアンゴラ向け融資枠の開設や2021年10月にエルドアン大統領がアンゴラを訪問することも併せて発表された([GOV 7/28](#))。

(2)7月28日、ロウレンソ大統領は、アンカラで開催された第1回アンゴラ・トルコ・ビジネスフォーラムに出席し講演を行った。同大統領は、「アンゴラはトルコからの建設資材、自動車・バイクの組立、電子器機・家電製品、繊維、衣類・靴産業への投資に特に関心がある他、トルコの製菓、トラック生産、農業資材・肥料生産分野にも関心を有する」、「アンゴラでは現在、公営企業や公営資産の民営化プロセスが進行中であるところ、これらへのトルコ企業の参加や官民連携(PPP)での大型プロジェクトの参画を期待する」などと述べた([JA 7/29](#))。

14. MPLA の中国共産党 100 周年記念サミット出席

7月6日、オンライン形式で中国共産党創立100周年を記念する「中国共産党・世界政党指導者サミット」が開催され、約160か国から約500名の政党等指導者が出席した。アンゴラからは、ダミアオン MPLA 副党首がロウレンソ大統領／MPLA 党首の代理として出席し、中国共産党創立100周年の祝辞を述べるとともに、コロナ禍における中国からのアンゴラへの支援に謝意を表明した([AC 7/7](#))。

1. ナミベ湾包括開発プロジェクト関連

7月13日、ナミベ港において、アブレウ運輸大臣及び丸橋大使の出席の下、ファースト・ストーン・セレモニー（定礎式）が行われた。JBICと日本の民間銀行の融資6億ドルの資金により、日本企業の豊田通商及び東亜建設工業がナミベ港のコンテナターミナルの拡張とサコマール港改修を行う。実施期間3年間の同プロジェクトにより、約1,500人の新規雇用の創出が見込まれる。アブレウ運輸大臣は、同プロジェクトが、ナミベ港の機能を増強し、輸出入の活性化を図ることでアンゴラ南部の経済成長と発展を促進すること、また、サコマール港の活性化には、鉱物資源開発の再開が重要であると述べた。さらに同プロジェクトがナミベ州をより魅力的にすることは間違いないと強調した([JA 7/15](#))。

2. ロビト製油所の入札公示

7月9日、ソナンゴルは、ロビト製油所への投資に関する公開入札を発表した。また、同社への提案書受付期間が4か月であることや参加資格要件（会社の財政的および技術的能力、同様のプロジェクトへの投資の実績等）を説明した。また、アゼベド鉱物資源・石油・ガス大臣は、ロビト製油所は、20万バレル/日の製油処理能力が見込まれ、建設段階で8,000人、生産段階で4,000人を雇用する見込みであると述べた([JA 7/11](#))。

3. AfricellによるNokiaの5G技術の購入

7月12日、携帯事業者のAfricellは、本年末に運用開始予定の5Gモバイルサービスに関し、Nokiaのネットワーク技術を購入することを発表した。同社によれば初期段階では、2G、3G、4Gで通話及びデータサービス技術を提供するNokiaのネットワーク機器を使用し、将来的にはより現代的で高速な5Gモバイルサービスを導入する。また、Nokiaは、データセンター、マイクロ波伝送ネットワーク及びネットワーク管理システムソリューションも提供する([JA 7/12](#))。

4. 世銀とAFDによるプロジェクト融資

7月13日、アンゴラ政府は世銀及びフランス開発庁

(AFD)との間で約18.6億ドルの資金協力に関する合意書を締結した。合意書はヴェラ・ダヴェス財務大臣とジャン・クリストフ・キャレット世銀コンゴ(民)・アンゴラ・ブルンジ事務所カントリーディレクター及びソーシャ・ルイ・アントワヌ当地AFD代表によって署名された。本件融資は、4つのプロジェクト(開発政策運営(予算支援)、ルアンダ・ビタ水供給保障プロジェクト、電力セクターアクセス改善プロジェクト、少女たちのエンパワーメントと万人のための学習)の支援である([AP 7/13](#))。

5. ポルトガル水事業会社による技術支援

7月22日、ポルトガル水事業会社は、アンゴラ電力・水省との間で、給水及び衛生サービスに関する水事業契約2件を締結した。一件はウイラ州水公社(EASH)への技術支援であり、もう一件はナミベ州モサメデス市(南部海岸沿い)、モシコ州ルエナ市(内陸東部)、ルンダ・ノルテ州ドウンド市(内陸北部)の3都市において電力・水省が各プロジェクトにファイナンスを行うための財務管理、社会環境的管理の支援である([ME 7/23](#))。

6. 民営化関連

(1)7月15日、国営企業等民営化推進機構(IGAPE)はスーパーマーケットKEROの運営権に関する公開入札を開札した。提案書の受付締切は9月3日。KEROはルアンダ州8店舗、地方4店舗の合計12店舗存在し、フランス企業Carrefour社や南ア企業Shoprite社が入札に関心を示している([EX 7/15](#))。

(2)7月22日、オーメン通信・情報技術・マスコミュニケーション大臣は、TVジンボ含むメディア・ノーヴァグループの民間メディア企業(オ・パイス紙、ラジオ・マイル等)の民営化(当館注:前政権時に公的資金投入等の不正資金取引があったとして2020年7月に検察当局が検挙し、政府の監督下に置かれている)のための公共入札を間もなく開始する旨発表した([AP 7/22](#))。

(3)大統領令により、アンゴラ政府が保有する通信事業者Multitelの株式90%の公開入札実施が決定された([DW 7/26](#))。

7. AFCによる海洋ターミナル整備事業への投資

7月7日、アフリカ・ファイナンス・コーポレーション(AFC)

は、ベンゴ州ダンデ市に位置するバッハ・ド・ダンデ海洋ターミナルの整備事業に投資する旨発表した。同海洋ターミナルの整備事業は、2012年にソナンゴルが石油関連製品の貯蔵・供給・輸出を目的として開始したものであり、2016年に作業が一時停止されていた。AFCは、他にも、バッハ・ド・ダンデ自由貿易区、ロビト製油所、ソヨ製油所への投資に関心を示している [\(AN 7/8\)](#)。

8. Afreximbankによる若者生産者向け融資枠の開設

アンゴラ若者生産者協会(AAJP)及びアフリカ輸出入銀行(Afreximbank)は、Afreximbankによるアンゴラ人の若者生産者向け融資枠合計 2,000 万ドルの開設に係る協定を締結した。第 1 フェーズの融資は、生産量を増加させるための投入材の購入に充て、第 2 フェーズの融資は投入材の国内生産を可能にする設備の導入に充てられる見込み [\(EX 7/5\)](#)。

9. アンゴラ東部における農業関連投資

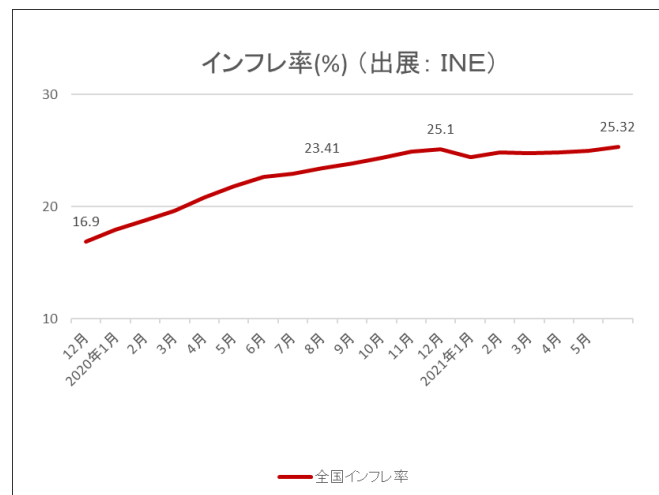
7月1日、国営ダイヤモンド企業 Endiama 及び英国に拠点がある RGS Group Holding は、ルンダ・ノルテ州、ルンダ・スル州、モシコ州の農産業に 5 年間で 40 億ドル以上投資する意向を示した。基礎食料品、フルーツ、パーム油などを生産する見込み [\(AP 7/1\)](#)。

【主要経済指標】

1. 物価

国家統計院(INE)が発表した6月のインフレ率は、全国平均で前月比 2.05%、前年同月比 25.32%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.46%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.07%)、家具、家財、メンテナンス(0.08%)、運輸(0.08%)、モノ・サービス(0.11%)。



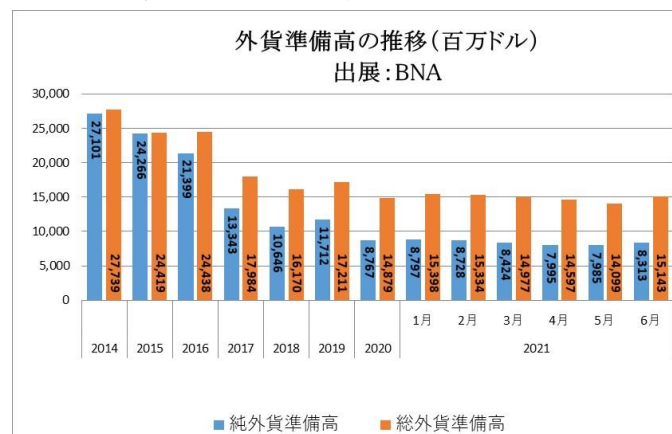
2. 金利

7月2日、金融政策委員会(CPM)が開催され、政策金利の15.50%から20%への引き上げ、限界貸出ファシリティ(オーバーナイト物)の19.88%から25%への引き上げ、流動性吸収ファシリティ金利(7日物)の12%から15%への引き上げが決定された。

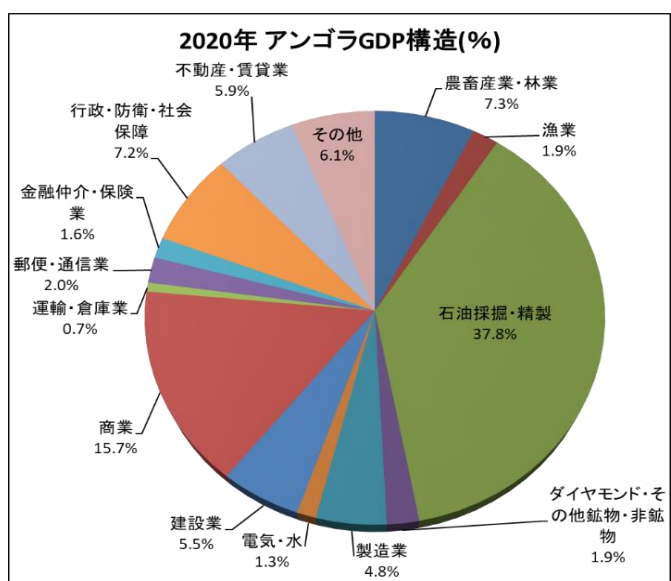
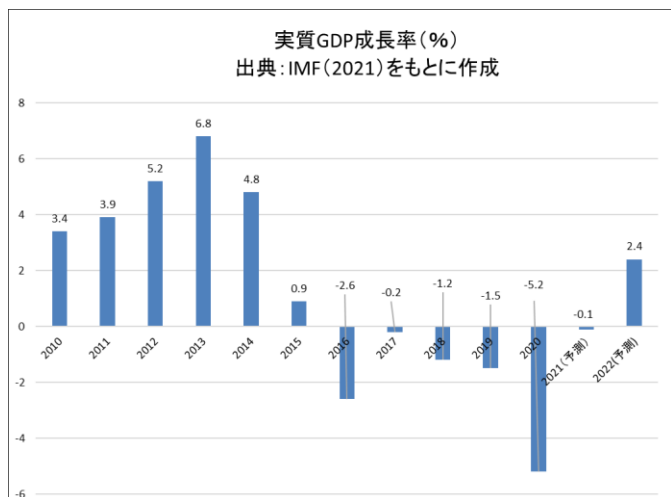
3. 為替市場

7月31日、為替相場は 1USD=639.19AOA で推移。

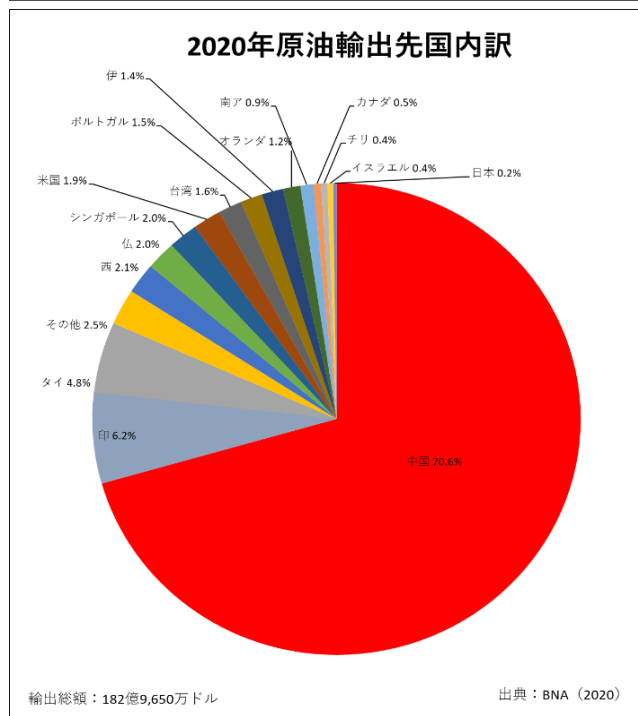
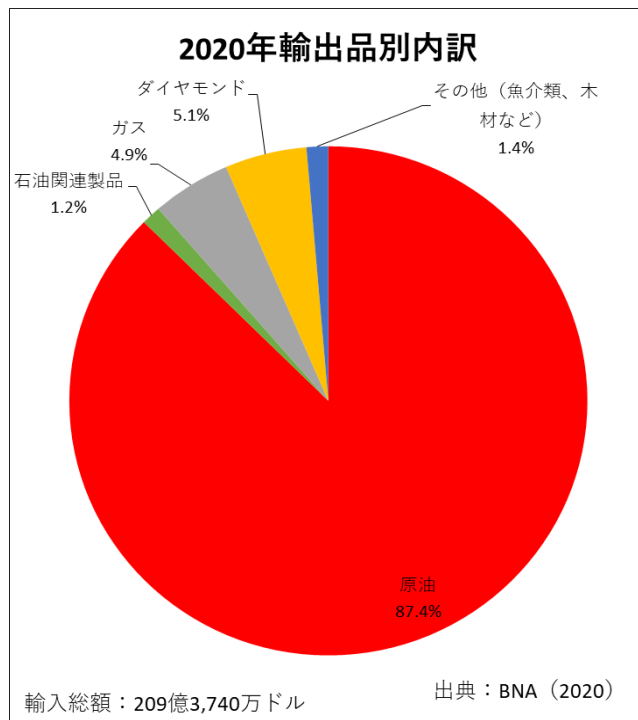
4. BNA 発表の外貨準備高統計



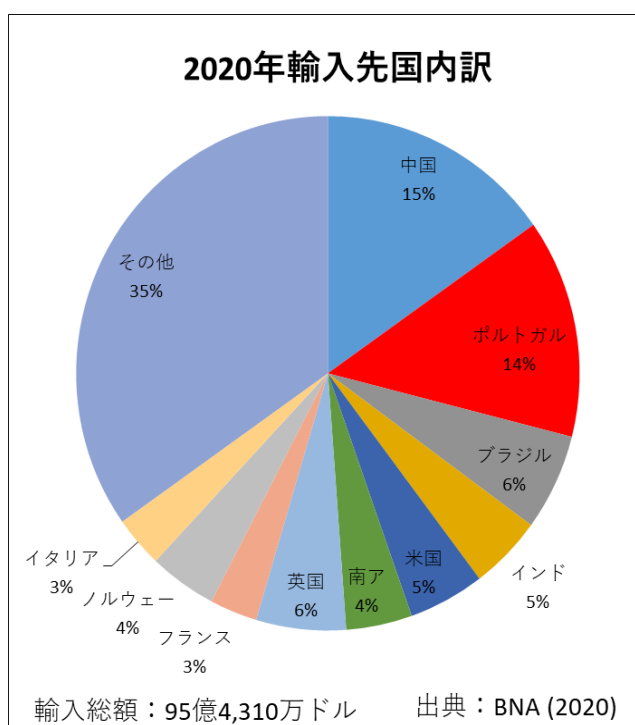
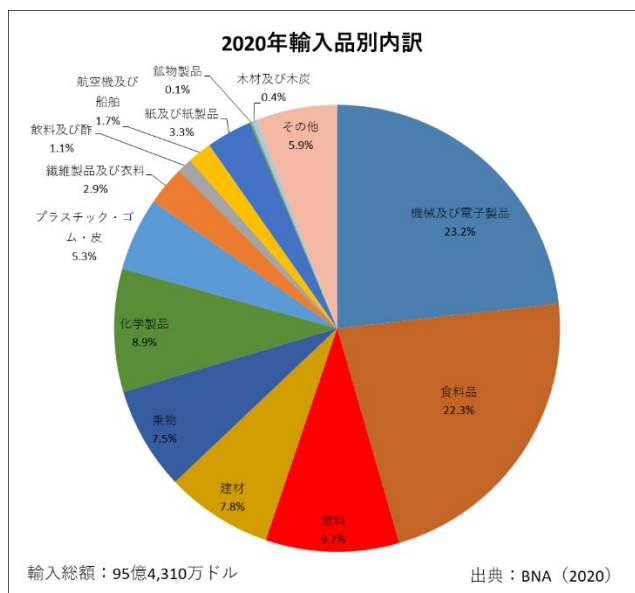
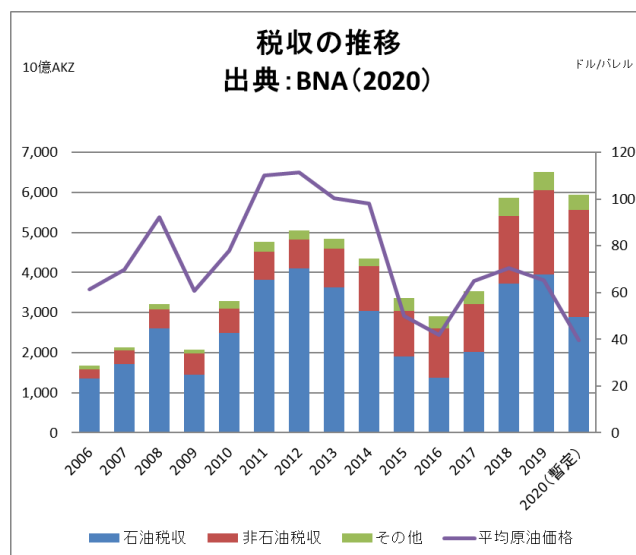
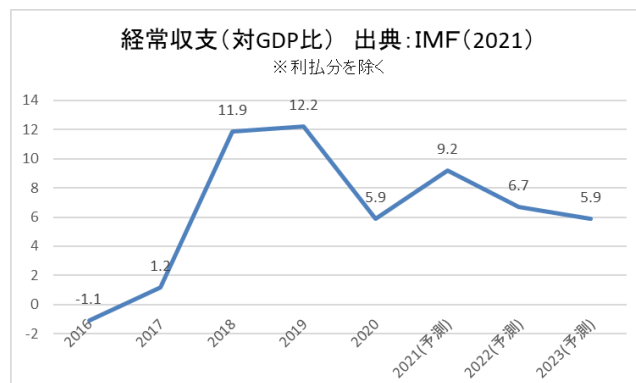
5. GDP及び成長率



6. 主要貿易統計



7. 財政主要統計



AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AN:Ango Noticias、 AO: Angola Online、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、 BB: Bloomberg、 CK: Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche Welle、 EG: E-Global、 EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 EXP: Expresso、 FT: Financial Times、 FM: Forum Macao、 GOV: Government's Official Portal、 JA: Jornal de Angola、 JN: Jornal de Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、 MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW: Mining Weekly、 NAM: Noticias ao Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、 PB: Publico、 RE: Reuters、 RFI: Radio France Internationale、 TPA: Televisão Pública de Angola、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、 VG: Vanguarda、 VOA: Voice of America、 WB: World Bank、 WSJ: Wall Street Journal、 XN: Xinhua Net